

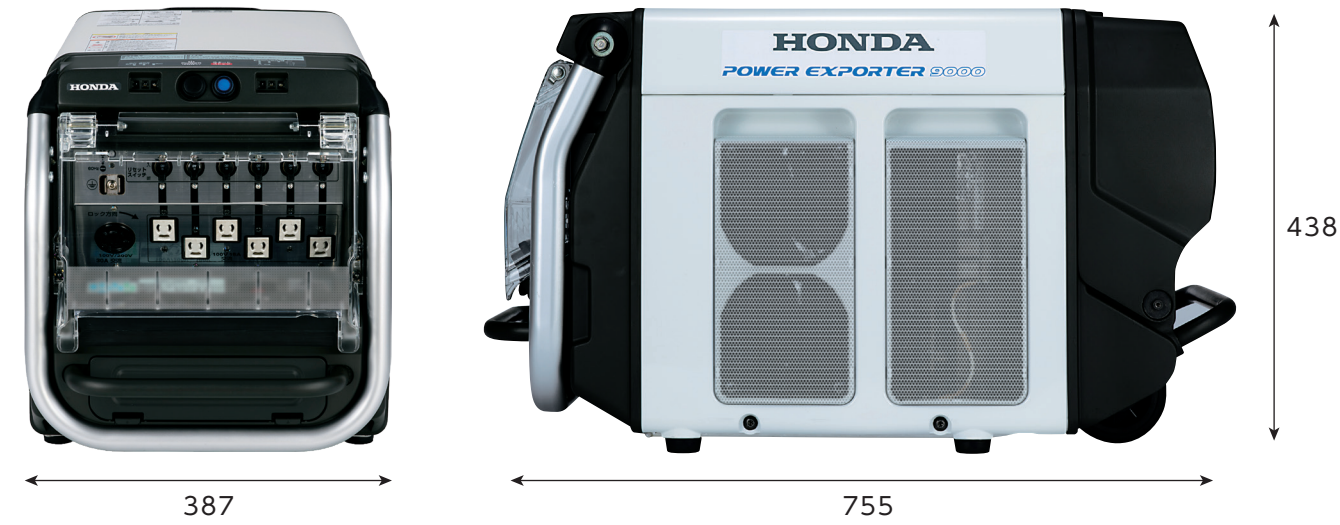
Power Exporter 9000はクルマとつながることにより、「走る電源」という新しい価値を生み出すことができます。

災害時の備えに、さまざまな用途に。

電気自動車 (EV) やプラグインハイブリッド車 (PHEV)、燃料電池自動車 (FCV) などの電動車両には、たくさんの電気を貯める能力や発電する能力があります。

Power Exporter 9000は、電動車両から電気を取り出し、大型電気製品からパソコンなどの精密機器まで、さまざまな電気機器に電力を供給します。

最大9kVAを出力することから、電動車両を災害時の非常用電源として、避難所や小規模のオフィス・店舗などで活用するのに最適です。排出ガスも無く音も静かなので、周囲や環境の負担を気にすることなく、屋外イベントや夜間工事など、いろいろな場所で多彩な用途に使用することができます。



3年保証



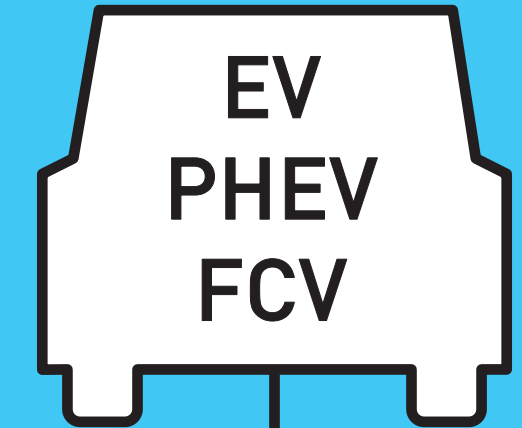
主要諸元

定格出力	9kVA	
出力端子	100V × 6口	200V × 1口
	抜け止め接地コンセント	接地3P30A引掛埋込コンセント
定格出力電圧	AC100・200V (単相3線式)	
質量	51kg	
外形寸法	D755 × W387 × H438mm	
周波数	50Hz・60Hz (切替え式)	
電力変換方式	インバーター方式	
適用規格	電動自動車用充放電システムガイドラインV2L DC版	
保証期間	3年間	

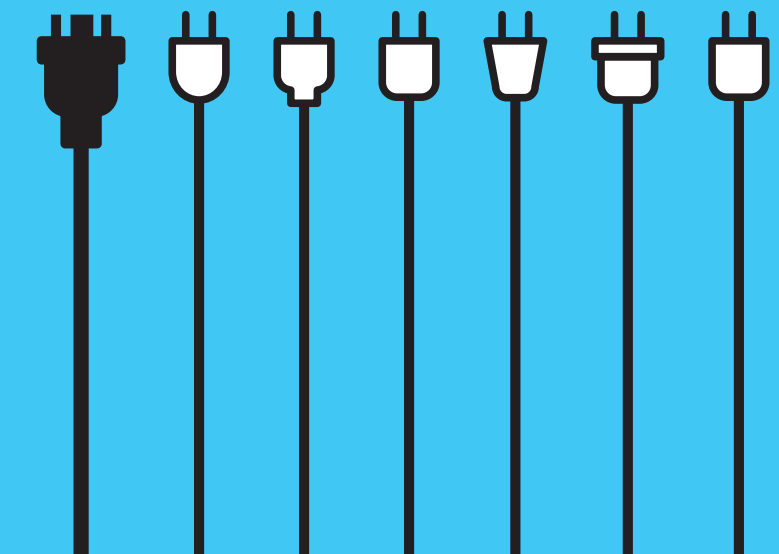
全国メーカー希望小売価格 **1,201,750円** (消費税込み)

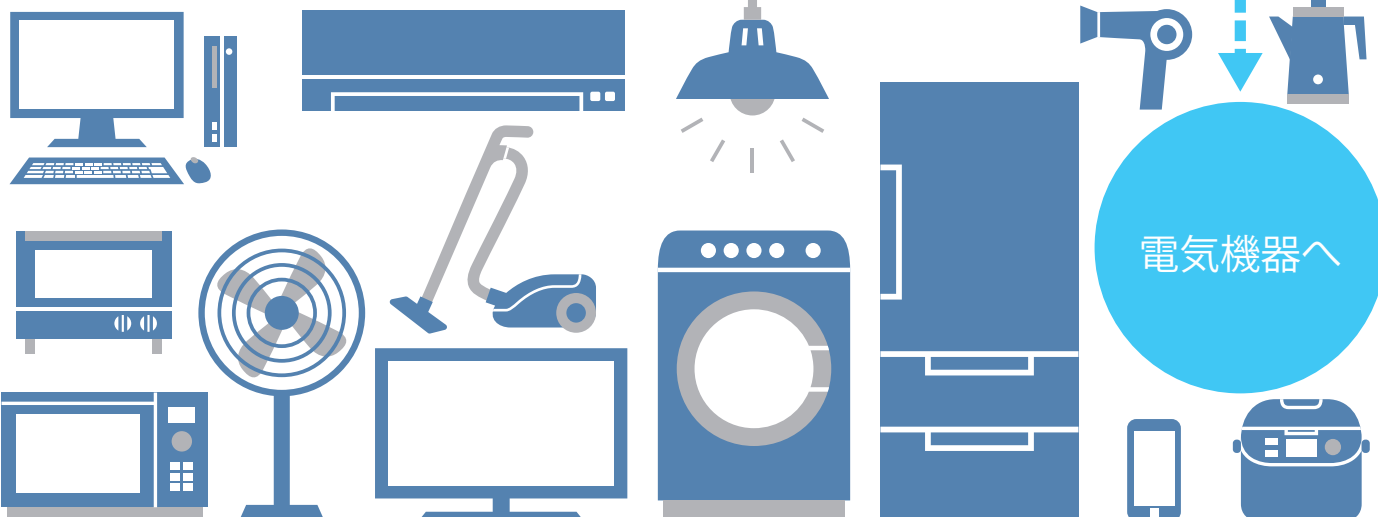
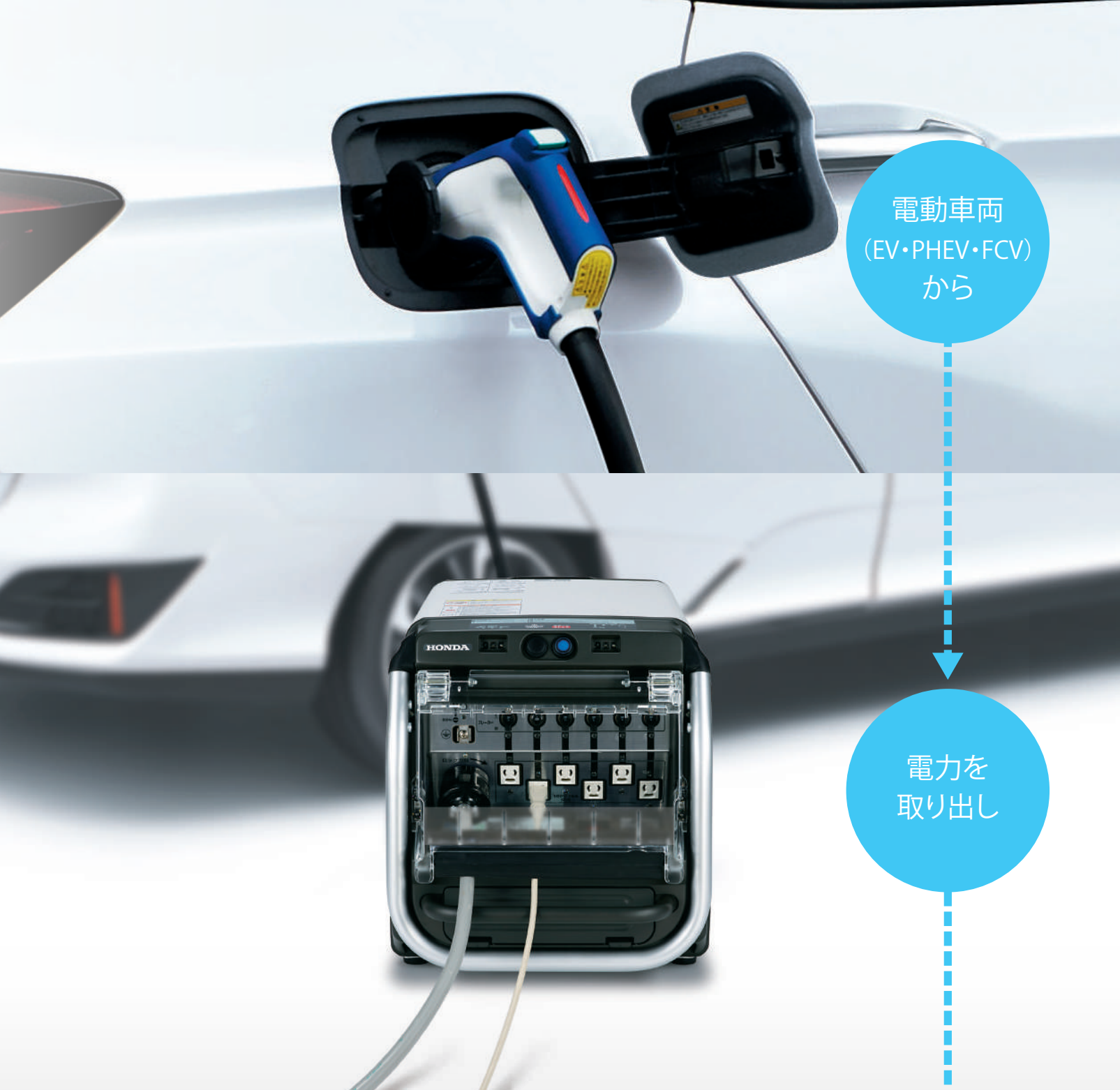
お問い合わせ、ご相談は下記まで。
 (株)ホンダパワープロダクツジャパン 法人販売課
048-973-0602 (受付時間: 9時~12時 13時~17時 ※土日祝日除く)

Power Exporter 9000についてWEBページはコチラ
 QRコードを読み取いただくか、下記URLよりアクセスください。
<https://www.honda.co.jp/gaibukyuden/>



クルマにつなぐ、明かりがひろがる。





最大出力 9kVA*

電動車両から、最大9kVA(平均的な一般家庭で消費する電力の約3倍*)の電力を出力することができるので、災害時の避難所や防災拠点、小規模のオフィスや店舗の非常用電源として活用することができます。

*100V定格出力は9.0kVA、200V定格出力は6.0kVA、合計定格出力は9.0kVAとなります。ただし、供給できる電力の出力・容量は接続するクルマにより異なります。
**平均的な一般家庭の電気契約(従量電灯B・30A契約(東京電力調べ)より試算)

高品質な 電力を供給

Hondaが、ポータブル発電機の開発で長年培った独自のインバーター技術を用い、家庭用コンセント並みの高品質な電力を供給します。パソコンなどの精密機器も安心して使用できます。

单相3線式100/200V 同時出力可能

100V×6、200V×1合わせて7つのコンセント備え、同時に出力することも可能です。スマートフォンから、一般の電気機器はもちろん、200V出力でオフィス用エアコンや店舗用冷凍庫など幅広い機器に対応します。

排出ガスゼロ* 静かでクリーン

排出ガスもなく静かなので、周囲への配慮や環境負荷を気にすることなく使用できます。

*燃料電池自動車接続時、密閉された空間では酸素を消費するため、十分な換気が必要です。また、車両から水が排出されることがあります。尚、プラグインハイブリッド車接続時はエンジンが始動することがあります。接続前に車両および外部電源の取扱説明書をご確認ください。

ラクラク簡単操作

給電コネクタを電動車両に接続し、スイッチを押すだけのカンタン操作で電気機器が使えます。*詳細は取扱説明書をご参照してください。

①給電コネクタを差す ②電源スイッチON→スタートスイッチON ③コンセントプラグを差して、電気機器を使う

大型電気製品からパソコンなどの精密機器まで動かせる!

自宅(約85m ²)	店舗(約50m ²)	防災拠点(体育館550m ²)
冷蔵庫 1台 0.3kW 定格内容積:144L 期間消費電力:490kWh	店舗用エアコン 1台 ... 3.3kW/200V 約33~72畳(61~133m ²)用 期間消費電力:3585kWh	石油ヒーター 2台 0.7kW 約47畳(77.5m ²)用 24時間使用時の消費電力:16.8kWh
テレビ 1台 0.1kW 50V型 0.12kW 期間消費電力:113kWh	冷凍冷蔵庫 2台 0.7kW/200V 定格内容積:1227L 期間消費電力:2960kWh	水銀灯 5個 2.0kW/200V 一般水銀ランプ 反射型 0.4kW 4時間使用時の消費電力:8.0kWh
LED照明 3台 0.1kW 10畳用 0.04kW 期間消費電力:1470kWh(1日12時間使用)	LED照明 30本 0.3kW 40形直管型 0.01kW 期間消費電力:1380kWh(1日12時間使用)	LED投光器 1台 0.1kW 10,000lm 14時間使用時の消費電力:1.4kWh
エアコン 3台 2.1kW 約10畳(13~19m ²)用 0.67kW 期間消費電力:1725kWh	オープンレンジ 1台 ... 1.4kW 容積:30L 期間消費電力:67.9kWh	通信機器 1式 0.5kW ノートPC、ディスプレイ、ルーター 24時間使用時の消費電力:12.0kWh
合計 約 2.6kW 1日電力消費量:10.4kWh	合計 約 5.7kW 1日電力消費量:21.9kWh	合計 約 3.5kW 1日電力消費量:41.1kWh

優れた可搬性

車載可能なサイズで、クルマのトランクに載せてどこにでも運ぶことが可能です。小さな段差もバランスよくスムーズに乗り越える大型車輪とハンドルのほか、積み降ろしがラクな大型グリップも備えています。

さまざまな電動車両に接続可能

V2L*の外部給電機能を備えるクルマなら、メーカー・車種にかかわらず電力を取り出すことができます。

*電動自動車用充電システムガイドライン V2L DC版(電気安全および車両と接続機器の互換性を確保するために作成された規格)

メーカー	接続確認済みの車種*1(2020年9月現在)	搭載電池容量
Honda	Honda e	35.5kWh
	クラリティ FUEL CELL	約70kWh相当*2
	クラリティ PHEV(最大供給電力3kW)	17kWh
トヨタ自動車	MIRAI	約60kWh相当
	LEAF*3*4	40kWh
	LEAF e+*3	62kWh
日産自動車	e-NV200*3	40kWh
	OUTLANDER PHEV*3	13.8kWh
	i-MiEV(軽自動車を除く登録車のみ)*3	16kWh

※1 事前に接続車両のホームページ及び取扱説明書をご確認ください。なお、接続する車両によっては、出力制限や使用条件により給電が停止する場合があります。
※2 一般家庭のおよそ7日分の電力量(電気自動車連合会調べによる一般家庭における1日の平均消費電力から換算した場合。ただし、お客様の使用環境により給電時間は異なります)から換算した値。
※3 接続時に同様のDCケーブル(12Vアクセサリソケット用接続ケーブル)をご利用ください。尚、本機起動中はエラーモードに入ること避けるためケーブルを抜かないでください。
※4 車台番号が[LEAF-ZE0-]で始まる車両および車台番号が[AZE0-05001~053467]の車両は、車両側のプログラムの変更が必要となる場合があります。給電対応の可否について、事前に日産自動車販売店にご確認ください。

Power Exporter 9000 活用事例

電動車両の活用で、災害時の停電に備える練馬区

東京都練馬区では、大規模地震などの災害が発生した場合の避難拠点の緊急電源として、EV(電気自動車)、FCV(燃料電池自動車)等を活用する取り組みを始めています。練馬区では現在、EV9台とFCV2台の電動車両と、Power Exporter 9000を10台所有しています。災害時は、電動車両とPower Exporter 9000を避難拠点へ派遣し、照明や携帯電話の充電などに電動車両の電力を供給します。また、区民や事業者が所有する電動車両を避難拠点の緊急電源として活用する「災害時協力登録車制度」を設け、災害時の電源確保の取り組みを進めています。(2019年9月時点)

DMAT実動訓練

DMAT(災害派遣医療チーム)訓練にて医療機器やICT機器などの精密機器に高品質な電力を供給し、全ての電子機器が正常に作動しました。

大型ライブでの電源供給

[LUNA SEA The Holy Night 2017@さいたまスーパーアリーナ]で、メンバー全員の演奏機材にFCVからPE9000を介して高品質な電力を供給し、2日間のライブを支えました。

消費電力等は、経済産業省 資源エネルギー庁 省エネ性能カタログ、各電機メーカーホームページ・カタログより引用。